

平塚市協働事業審査会 平成24年度実施事業審査会議 議事録

日 時 平成23年10月8日(土)午後4時30分から午後6時40分まで
場 所 ひらつか市民活動センター
出席者 泉委員長、市川委員、坂田委員、細野委員、企画部長、総務部長、市民部長
事務局4名

審議の結果、協働事業審査会委員の総意により次のとおり各事業の採択・不採択が決定された。

(1) 全ての事業への意見等

- ・一過性の単発イベントにならないように、次年度以降が単独・協働事業に関わらず、次につながる(活かせる、発展させる)事業を協働で展開していただきたい。
- ・事業費の内容を精査するとともに、団体と担当課で協議し、今ある資源を活用するなど予算の削減に努めてほしい。
- ・特に、講師謝礼や有償ボランティアの謝金を含めた人件費については、「団体の構成員へ支払うのか」「外部へ支払うのか」、また、これまでの団体活動に対して「新たな事業としての拡大か」「新たに行政の事業を担うのか」など、人件費の必要性と金額(単価、時間、回数)を精査すること。
- ・団体側も自主財源の確保など、事業や組織の継続性を充分考慮して進めてほしい。

(2) 各事業の審査結果と意見等

悪徳商法バスターズの養成と啓発活動

(提案団体：悪徳商法バスターズ推進委員会 担当課：市民情報・相談課)

[審査結果]

不採択

事業名	企画提案の内容	実現性	役割分担	費用の妥当性	団体の実施能力	計
悪徳商法バスターズの養成と啓発活動	3	2	3	3	2	13

[委員からの意見等]

- ・団体としての実績が乏しく、今後の運営が不明瞭。団体の組織力に疑問がある。
- ・受講後、実際に活動してくれる受講生を募るのが大変だと思われる。
- ・目的は、悪徳商法の被害・犯罪をなくすことにあると思う。協力機関との情報のやりとり、フィードバックの仕組みをしっかりと作ることが重要。
- ・団体としての活動実績がほしい。専門性のある方々がいるのは良いと思うが、協働事業は団体として行うので、内部連携が大事。一年後の団体の姿を見たい。
- ・専門家ネットワークも確立しているようなので、今後、実績を作って他市に向けてのモデル事業になってほしいという期待がある。
- ・認定証の発行元や認定責任、また、その効果や影響などに対する検討が不十分であり実現性が危ぶまれる。

- ・ 2 ヶ月 6 回の講座で消費問題の啓発、相談に対応できる人材を育成できると思えない。
- ・ 主旨は大変良いと思うが、具体的にどのような活動になってくるのか見えてこない。まずは、悪徳商法バスターズ推進委員会のメンバーで実践活動をしてはどうか。

朗読による平和推進事業

(提案団体：朗読「糸の会」 担当課：行政総務課、指導室)

[審査結果]

条件付採択

【採択条件】

- ・ 学校公演の事業のみ採択とする。
- ・ 演奏者なしでの実施など規模を再検討すること。

団 体 名	企画提案の内容	実現性	役割分担	費用の妥当性	団体の実施能力	計
朗読による平和推進事業	3	3	3	2	4	15

[委員からの意見等]

- ・ 朗読公演は、1 回きりの単発イベント的な事業としては費用が高い。これだけの予算額をつけるのであれば、平和事業として長期的な事業を検討すべき。
- ・ 被爆ピアノにかかる費用が大きく、費用対効果が見えない。被爆ピアノや演奏者の必要性を含め、実施規模や経費の削減を再検討していただきたい。
- ・ 平塚も空襲を受けた都市として歴史を伝えていく必要性は高く、非常に意義のある事業だと思う。やるのであれば、できるだけ多くの方に見ていただけるようにしていただきたい。
- ・ 被爆ピアノ講演についてはその効果について疑問がある。別の形で一般向けの公演が考えられないか。市と協働して広く市民が参加できる公演を工夫していくことが大切ではないか。
- ・ 戦争の悲惨さを伝え、平和を推進していくことはとても大切なこと。地道にコツコツと続けていってほしい。
- ・ 入場料で事業費を補てんするか、演奏者の謝金を抑えない限り実現は難しいのでは。
- ・ 朗読公演の費用を再考してほしい。助成金や参加者負担等により、団体独自事業としても可能ではないか。協働する必要性はどこにあるのか。
- ・ 事業採択された場合、学校公演の内容、スケジュールを明確にし、また、教育委員会の協働提案に対する考え方や役割を明確にしてほしい。

スポーツごみ拾い

(提案団体：NPO法人 湘南ベルマーレスポーツクラブ 担当課：スポーツ課)

[審査結果]

不採択

事 業 名	企画提案の内容	実現性	役割分担	費用の妥当性	団体の実施能力	計
スポーツごみ拾い	2	3	2	3	4	14

[委員からの意見等]

- ・スポーツ課が果たしていく役割が見えない。スポンサーも付いており、市は後援でも良いのではないか。
- ・健康と環境という2つの重要なテーマが入っている事業。事務用品や備品などのイニシャルコスト(初期費用)を除けば、比較的ローコストで実施出来るので、協働であれ団体単独であれ、継続して取り組んでいただきたい。
- ・単発イベント的ならば、協働の企画としてはどうか。協働事業としての意味が薄いと思う。
- ・団体としての知名度は高く、広報の仕方によっては十分参加者を集められるのではないか。団体単独でも助成金を利用し、トンぐやピブスを購入することも可能ではないか。
- ・提案団体は知名度、実績も十分あり、行政の信頼性を得なくても円滑な事業の実施は期待できる。協働事業としての必要性や双方のメリットは疑問がある。
- ・スポーツごみ拾い連盟の方を講師に1回実施し、あとは団体が講師を務めて継続はできないか。
- ・事業の目的、必要性において、スポーツごみ拾いのスポーツ性をより具体的に説明してほしい。

デジカメとパソコンで楽しもう講座

(提案団体 : N P O 法人 ひらつか I T サポート 担当課 : 中央公民館)

[審査結果]

採択

事業名	企画提案の内容	実現性	役割分担	費用の妥当性	団体の実施能力	計
デジカメとパソコンで楽しもう講座	3	4	3	3	4	17

[委員からの意見等]

- ・「デジカメとパソコンで楽しもう」というタイトルで個人の趣味の域を超えるものか。例えば、地域情報局の担い手や地域の各団体の役員などに優先枠を設けたり、地域に貢献できる人を募集条件に入れるなど、地域活動にフィードバックできるような内容にしてほしい。
- ・提案団体の内規で定めているプロジェクト費を市の負担としているのはどうか。プレゼンの説明を聞く限りでは、団体が負担するべきでは。再検討してほしい。
- ・団体本来の活動目的と協働事業の趣旨を考えれば、講師代や講習設計費は不適切では。
- ・既存の公民館自主事業との違いがないとすれば、協働事業とする必要性がどこにあるのか。
- ・シニアが生き生きと活動をしていく上で、IT技術の向上は欠かせない。目標として、スキルアップした市民が地域活動の情報発信力の支え手となり、更に人材育成へ広がると良い。
- ・参加者負担をもう少し上げることが検討してほしい。

高麗山公園ハイキングコース等植生調査事業

(提案団体 : 湘南の森 担当課 : みどり公園・水辺課)

[審査結果]

採択

事業名	企画提案の内容	実現性	役割分担	費用の妥当性	団体の実施能力	計
高麗山公園ハイキングコース等植生調査事業	4	4	3	3	4	18

[委員からの意見等]

- ・行政側が協働で何をやって行くのかが見えてこない。行政の役割をしっかりと位置付けてほしい。
- ・謝金は外部となっているが、プレゼンでは会員が行って、謝金もいらぬのではといった話があった。工夫して縮減できるのか、精査してほしい。
- ・高麗山公園を熟知している団体ならではの提案ということで、委託先についてもその利点を活かしての調査としてほしい。高麗山公園の再整備も視野に入れた長期的計画も必要かと思う。
- ・歌川広重「東海道五十三次」の平塚宿にも描かれている高麗山。次世代にも良い形で引継ぎ残したい。是非とも頑張ってください。
- ・森を守り、次世代へとつなげる大事な事業。出来あがった報告書をどのように使って、次の事業展開に持っていか、その辺りを明確にしてから事業を実施してほしい。
- ・デザイン・印刷費用を、作成部数や単価などもう少し具体化して費用の再検討をしてほしい。
- ・長期事業になるようなので、組織力アップを図るなど、できれば法人化してしっかりと協働事業を行ってほしい（定款が法人規格だったので）。

みんなですすめる花いっぱい街づくり事業

(提案団体：明日の金田を創る会 担当課：農水産課)

[審査結果]

採択

事業名	企画提案の内容	実現性	役割分担	費用の妥当性	団体の実施能力	計
みんなですすめる花いっぱいの街づくり事業	3	3	3	3	4	16

[委員からの意見等]

- ・団体の負担が一切なく、事業収入に市民のザル菊購入費をあてているだけ。市民提案型事業であれば、少しは団体の負担があっても良いのでは。
- ・行政提案型協働事業の花アグリ事業で、金田地区をまとめた実績もあり、団体の実施能力は高い。自主財源の確保など、協働事業が終わった後の自立に向けて考えてほしい。
- ・緑化事業として、農水産課からみどり公園・水辺課への事業のつながりも検討すべき。
- ・今後、全市的に広めていくためには緑化施策部門をはじめ、庁内的な連携と金田地区以外へのPRも重要になってくると思う。
- ・企業との連携や巻き込みも検討し、全市的に広げてほしい。今、企業も社会貢献に力を入れているので苗や種の提供を受けることも1つの方法では。
- ・平塚はバラをはじめ、花の生産が盛んなので、その一つとしてザル菊の里親制度を成功させてほしい。
- ・花のある景観づくり事業の終了で、協働事業としての目的は達成できたと考えられる。協働事業で培ったノウハウや成果を、他地域へ広げる役割を協働事業の目的とすべき。

国際理解授業「多言語でのコミュニケーション」

(提案団体：言語交流研究所 ヒッポファミリークラブ 担当課：指導室)

[審査結果]

不採択

事業名	企画提案の内容	実現性	役割分担	費用の妥当性	団体の実施能力	計
国際理解授業「多言語でのコミュニケーション」	3	3	2	3	3	14

[委員からの意見等]

- ・多言語というテーマが難しい。学校で継続して時間を割くことは難しく、授業というよりは、一過性のイベント的な要素も伺える。団体単独でこれまで活動を行ってきており、今まで通りの活動を続けてほしい。
- ・今まで無償で行ってきた活動の拡大ということだが、協働での事業展開をどうしていくのか明確にしてほしい。
- ・多言語活動という内容が、今回のプレゼンではなかなか伝わりにくかったように思う。
- ・現状では、教育委員会でも外国語活動プランに沿って進めている。英語教育が優先される中、多言語が学校に受け入れられるかが疑問で、協働事業として妥当かどうか。
- ・従来から講演会での後援や、国際理解授業を実施している中で、協働事業として行う教育委員会のメリットが不明確。

雅楽公演（鑑賞会・体験学習）

(提案団体：NPO法人 日本古典芸能雅楽普及会 担当課：指導室)

[審査結果]

不採択

事業名	企画提案の内容	実現性	役割分担	費用の妥当性	団体の実施能力	計
雅楽公演(鑑賞会・体験学習)	3	3	3	2	3	14

[委員からの意見等]

- ・芸術にお金がかかるのは理解できるが、2校のみの開催としては費用がかかりすぎている。事業内容と費用を見直さない限り、実現は難しいと思う。
- ・古典芸能として雅楽鑑賞は、日本の伝統文化の普及継承としては大事なこと。資金的な支援を行政に求めることができるのも協働ならでは。しかし、高額なこともあり、費用対効果の判断にもよる。規模を縮小して、学校で鑑賞会を行うことも検討しては。
- ・毎年、学校授業の中で、同じ経費をかけ続けるのは難しいのではないかと。もう少し費用を抑えて展開はできないのか、スタッフ・内容の検討が必要。
- ・どのような団体がいくつあるのか、雅楽団体のレベルが分からない中で、学習として受け入れられるのか。
- ・学校行事としての位置付けは分かるが、協働事業とする理由や考え方が明確ではない。

- ・ 雅楽団体やサークルと直接でなく、提案団体を介さなければならないのはなぜか。
- ・ これだけのお金をかける雅楽を、体育館のようなあまり音響も空調もよくない環境で見せるのもどうかと思う。

市民活動団体間の連携強化と活動拠点の機能強化

(提案団体：ひらつか市民活動連絡協議会 担当課：協働推進課)

[審査結果]

採択

事業名	企画提案の内容	実現性	役割分担	費用の妥当性	団体の実施能力	計
市民活動団体間の連携強化と活動拠点の機能強化	4	3	3	3	3	16

[委員からの意見等]

- ・ 事業計画の内容が多すぎないか、再検討が必要。
- ・ 人件費が昨年と比較しても多大な積算となっているので精査するべき。
- ・ 市民活動団体間の連携強化は、ぜひ実行してもらいたい。
- ・ 事業そのものが本来は市民活動センターが行うもの。活動団体がこれらの事業を連携して行うには行政との役割分担と協力、連携が不可欠。成果が上がれば他市への良い事例となる。成果目標を具体的に目に見えるようにしてほしい。

小学生向け財政パンフレットの作成

(提案団体：ひらつか自治体財政研究会 担当課：財政課、指導室)

[審査結果]

条件付採択

【採択条件】

- ・ 23年度の結果・成果を、24年度の事業へ活かした展開とすること。

事業名	企画提案の内容	実現性	役割分担	費用の妥当性	団体の実施能力	計
小学生向け財政パンフレットの作成	3	3	3	3	3	15

[委員からの意見等]

- ・ アンケート結果を見て、どう改善するか提案がないと、来年度の実行は期待できない。
- ・ 今年度の成果を見たうえで、効果を報告していただき、来年度の事業をバージョンアップしてもらいたい。
- ・ 今年度、実施中の事業の課題が明らかになっているのか。来年度の事業を実施する前に、課題や成果を整理してつなげる形にしてほしい。
- ・ アンケート調査はできれば抽出でも良いので生徒にも実施して、是非それを次のパンフレットに反映していただきたい。
- ・ 提案内容や23年度の様子を見ると、パンフレットを読む当事者である小学生の姿が見えてこ

ない。24年度は小学生の声を聞く、あるいは一緒に作っていくなど、参加型にしてほしい。大人の目線で作らないことも大切。

「地域猫」への取り組み

(提案団体：平塚のら猫を減らす会 担当課：環境政策課)

[審査結果]

採択

事業名	企画提案の内容	実現性	役割分担	費用の妥当性	団体の実施能力	計
「地域猫」への取り組み	4	4	3	4	4	19

[委員からの意見等]

- ・バザーの売上を事業費にあてるなど、団体の実施能力は十分である。行政と団体の役割分担を明確にして、事業成果の相乗効果を期待したい。
- ・団体としての実績もあり、少しずつ地域猫の取り組みが広がっていくことがみえる。協働の先進事例として他市へのPRになる。これも団体の地道な活動の成果。
- ・プレゼンでの大島地区の事例など、担当課との連携で事業がうまくいっていることがわかる。今年度の事業を来年度の事業につなげてほしい。

一般家庭での生ごみ自家処理推進事業

(提案団体：ごみを活かす会 担当課：資源循環課)

[審査結果]

採択

事業名	企画提案の内容	実現性	役割分担	費用の妥当性	団体の実施能力	計
一般家庭での生ごみ自家処理推進事業	4	3	3	3	3	16

[委員からの意見等]

- ・ごみ減量化婦人の会等との連携を検討し、事業を実施してほしい。
- ・事務用品や人件費が昨年より大きくなっている理由が不明。
- ・協働事業として、行政側の必要性やメリットが不明。
- ・講義内容に難易度があるのか、広く一般的に展開していく内容にしてもらいたい。
- ・生ごみの自家処理はごみの削減にもつながる。手間暇のかかることで、受講者が指導できるレベルに育つまでには時間がかかる。地道に続けて行ってほしい。
- ・協働事業が終わったあと、団体としてどのような活動にしていきたいのか知りたい。
- ・講座に関する支出が突出しているが、広く市民を巻き込むというニーズには合っていないと思う。市民がもっと興味を持って参加するような普及活動にもう少し力を入れてほしい。
- ・ステッカーの必要性が見えないし、単価が1,000円では高いと思う。仮に、ステッカーを受講者宅に貼って、どれほどの効果があるのか分からない。

- ・会場設営準備の人件費として、1時間 836 円は高くはないか。

里地里山の保全活動による地域環境再生と共生社会の確立

(提案団体：土屋里地里山再生グループ 担当課：環境政策課)

[審査結果]

採択

事業名	企画提案の内容	実現性	役割分担	費用の妥当性	団体の実施能力	計
里地里山の保全活動による地域環境再生と共生社会の確立	3	3	3	3	4	16

[委員からの意見等]

- ・農業指導者謝金は会員に支払われるのに、15,000 円は高額では。団体と行政で話し合って、再検討してほしい。
- ・各種計画事業を、どのような人員体制で、どのように実施するのか、見えてこないと同時に、実施できるのか疑問がある。
- ・里山の保全も活動も地味な活動。途中でやめることができない活動でもあるので、継続して活動できるメンバーの充当、団体としての資金面でも自立したコミュニティビジネスができるようになることも狙いの一つとして期待したい。

地域防災力の向上へ向けた支援事業の実施

(提案団体：ひらつか防災まちづくりの会 担当課：防災危機管理課)

[審査結果]

採択

事業名	企画提案の内容	実現性	役割分担	費用の妥当性	団体の実施能力	計
地域防災力の向上へ向けた支援事業の実施	4	3	3	3	4	17

[委員からの意見等]

- ・予算の多くが人件費。打ち合わせ、準備に係わる人件費や旅費を、他団体との調整の中で検討してほしい。
- ・協働事業としては、行政提案型を含め4年目の提案だが、出来れば3年が終わったあたりで資金面でも自立した団体となってほしい。今回、団体としての支出が少ないのが気にかかる。
- ・法人化して寄付賛同者を募ることを考えてはいかがか。
- ・将来の事業展望はどんなものか。

応急手当普及・啓発事業（救命・応急手当講習会の実施）

(提案団体：ひらつか応急手当協力会 担当課：消防救急課)

[審査結果]

条件付採択

【採択条件】

- ・被服費については、その必要性やベストなどへの変更を検討すること。

事業名	企画提案の内容	実現性	役割分担	費用の妥当性	団体の実施能力	計
応急手当普及・啓発事業（救命・応急手当講習会の実施）	4	3	3	3	3	16

[委員からの意見等]

- ・被服費については、人数が増えた場合などを考えて、簡素化・代替品などの検討を要す。
- ・具体的な活動予定を、もう少し明らかにしてほしかった。
- ・協働事業として行う意義をもっと明確にしてほしい。
- ・震災後でもあり市民の意識も高いので、多くの応急手当普及員が育ってくれれば市民にとっても安心感がもてる。
- ・元気なシニア層も巻き込んでいってはどうか。

平塚市協働事業審査基準

この基準は、協働事業（市民提案型・行政提案型）に提案された事業の採択・不採択を審査するための基準を示したものである。

1 審査方法

- (1) 提案された事業は、事業提案書及びプレゼンテーションで審査する。事業提案書の様式及びプレゼンテーションの方法については、別に定める。
- (2) 審査は、平塚市協働事業審査会が行う。

2 採点方法と事業の選定

- (1) 下記5つの項目について、各審査委員が各項目5点満点で採点して、項目ごとに平均点（各委員の採点の合計を委員数で割る）を出し、その点数を基に審査会として各項目の点数を決定し、5項目の合計点を出す。
- (2) 審査対象となる団体に所属する委員は、その事業の採点から外れるものとする。
- (3) 5項目の合計が15点以上（25点満点）を採択とする。また、審査会として決定した各項目の点数のうち、ひとつの項目でも1点（劣っている）があった場合は不採択とする。

3 採点基準

以下の項目を点数化したものとする。

項目	審査のポイント	点数
企画提案の内容	協働で実施することが適当であり、協働することによって課題解決、市民サービスの向上を図ることができる企画内容であるか。	とても優れている 5点 優れている 4点 普通 3点 やや劣っている 2点 劣っている 1点
実現性	事業を計画どおりに実施することが可能であるか。	とても優れている 5点 優れている 4点 普通 3点 やや劣っている 2点 劣っている 1点
役割分担	団体と市の役割が明確になっていて、それぞれの専門性を活かすことのできるような役割分担になっているか。	とても優れている 5点 優れている 4点 普通 3点 やや劣っている 2点 劣っている 1点
費用の妥当性	適切な費用の積算となっているか。	とても優れている 5点 優れている 4点 普通 3点 やや劣っている 2点 劣っている 1点
団体の実施能力	事業遂行にあたり、必要な能力を有している団体であるか。	とても優れている 5点 優れている 4点 普通 3点 やや劣っている 2点 劣っている 1点

4 審査結果の公表

- (1) 採択・不採択にかかわらず結果は、提案団体及び事業担当課に通知する。
- (2) 審査会で決定した点数と協議内容の要旨は、ホームページ等で公表する。